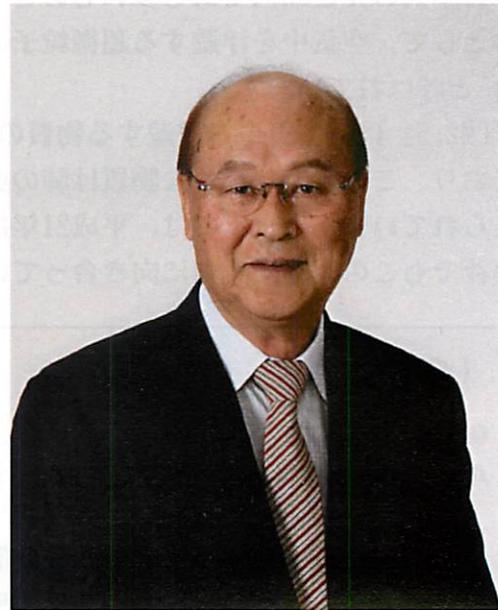


新年のご挨拶

皆様、明けましておめでとうございます。
新たな年を迎えて、当社を代表してご挨拶を
申し上げます。まずは日頃のご愛顧に深く感謝
申し上げます。

さて、昨年は東日本大震災の後遺症、円高
株安、電力不足、竹島・尖閣問題など多くの
課題を抱え込んで苦悩した一年でした。今年
は政治・社会・経済ともに明るい年になるよ
う各方面の活躍と政治のリーダーシップに期
待しております。

私どもの活躍の基盤である北九州市は、
2008年の環境モデル都市に続き2011年末に環
境未来都市や福岡県、福岡市と共にグリーン
アジア国際戦略総合特区に指定され、東田ス



マートコミュニティーやウォータープラザなどのプロジェクトが動きだし、国際的には
アジア低炭素化センターが活発に活動し、アジアの環境エネルギーの課題解決に取り組
んでいます。

当社は新しい年を迎えて、前回の創刊号に掲載したとおり、2020年を目標とする
長期ビジョン「環境テクノスビジョン2020」を策定し、「始動！環境コンシェルジュ」
を旗印に活力、ブランド力、地域社会との連携強化を指針に定め、社員一丸となっ
て取り組んでまいります。具体的な行動指針は当社ホームページで紹介しております。
私たちがイメージするコンシェルジュとは自らが楽しく仕事をし、お客様に信頼・安心
と共にプラスアルファの満足をお届けする存在のことで。

まさに、環境、資源・エネルギー制約の時代を迎えて、国内外とも環境・資源・エネ
ルギーに対するニーズは益々高くなっています。人類が健全で持続可能な経済社会を構
築するため、温暖化対策を始めとする地球環境、有害生物、有害化学物質、資源循環、
省エネ・新エネに関連する低炭素化など環境問題の解決は21世紀最大の課題です。
私たち「環境テクノス」のテーマは「より豊かで快適・安全な環境を未来の世代に引き
継ぐ」ことです。

「快適・安全・安心を科学する」環境テクノスは環境の保全から創造へ向けて、総合
コンサルタントとして幅広い環境分野にグローバルに取り組んでまいります。今後とも
ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

平成二十五年一月一日 環境テクノス株式会社

代表取締役 鶴田 暁

トピックス

環境基準項目のPM2.5とは！

人体内で容積最大級であり、唯一外界に開放された臓器である肺（気管支）に関わる病気は、日本人の死亡原因で最も多いものとなっています。肺（気管支）に影響を与える原因の一つとして、空気中を浮遊する超微粒子の存在が挙げられ、「PM2.5」（Particulate Matter 2.5）と呼ばれています。

「PM2.5」は、空気中を浮遊する物質のうち直径2.5 μm （マイクロメートル）以下のものを指しており、このように小さな物質は肺の奥深くにまで達するため、人体への影響が大きいと考えられています。日本では、平成21年に環境基準項目に追加されています。

弊社でもこの問題に真剣に向き合っているところです。

【Q&A】

Q. PMってなに？

A. 粒子状の物質のことを指しており、その中でも粒径が0.001~100 μm のものが空気中を浮遊するといわれています。

（例）黄砂：0.5~5 μm 、すぎ等の花粉：20~40 μm

※ μm （マイクロメートル）とは、 mm （ミリメートル）の1000分の1の大きさのことです

Q. どんなところから発生するの？

A. 工場のばい煙、自動車排気ガスなどの人の活動に伴うもののほか、自然界由来（海塩の飛散、火山、森林火災など）のものがあります。

Q. 健康被害にはどのようなものがあるの？

A. ぜんそくや気管支炎を引き起こすといわれています。これまでは10 μm 以下の物質が体に害を及ぼす可能性があるということで規制されていましたが、その中でも2.5 μm 以下の物質が特に影響が高いということがわかり、平成21からは2.5 μm 以下の物質についても監視するということで規制が始まっています。

新しいCO₂排出権取引制度が2013年度にスタートします！！

経済産業省・環境省・農林水産省では、「新クレジット制度の在り方に関する検討会」を設置し、2013年度以降の国内におけるCO₂排出権取引制度について検討しています。

九州地域では、新しいCO₂排出権取引制度の方向性等に関する説明会を、平成25年2月頃に熊本・鹿児島等で開催予定です。

弊社は、九州経済産業局から委託を受けて、本説明会の運営を行っておりますので、開催情報のお知らせを希望される方は、下記メールアドレスにご連絡ください。

E-mail : co2-credit@kan-tec.co.jp

メールタイトル：新クレジット制度の情報希望



グループ会社のご紹介

上海緑環商品検測有限公司



新年明けましておめでとうございます！

上海緑環商品検測有限公司とは、当社が現地企業と合併で2005年6月に設立した、分析を主に行なっている会社です。中国上海の空港（虹橋）の近くにあり、現在社員は20名程度（うち日本人は2名）います。また、社員の半数近くは20代と非常に若いメンバーで、日々業務にとりこんでいます。

具体的にどのような事を行っているかですが、主としてRoHS規制等に該当する電子機器関係や玩具・装飾品等に有害なものが含まれていないかを、化学的に分析・測定することで証明する仕事を行っています。お客様は、上海市を中心とした中国進出の日系企業がメインになっています。最近では、上記の業務以外にも水や大気分析・測定といった相談が多く寄せられ、これらにも対応できるように日本で培った技術・ノウハウによるバックアップのもと、業務を展開しています。

なお、RoHS規制等の検査は国際相互認証（CNAS）、水や大気等の分析・測定は計量認証（CMA）を取得して、事業を展開しています。

[Q&A]

Q. RoHSってなに？

A. 電子・電気機器にある一定以上の有害物質を含んでいた場合、EUでの販売をできなくする規制で、2006年から開始されています。現在では、日本、中国、韓国、米国等でも本規制が制定されています。

Q. 規制の対象になるのは？

A. 家電や通信機器、玩具などの製造事業者（部品製造も含む）や、これらの製品を輸出入している事業者です。また、2014年からは医療機器・制御機器も対象に加わります。

中国マメちしき

中国では正月のことを春節（チュンジェ）といい、中国全土がガラリと様相を変えてしまうほどの盛り上がりを見せる中国最大のイベントです。ただ、日本の正月とは日にちが異なり、今年は2月9～15日になっています。

（なんと毎年日にちが違うのです！）

これは日本では旧正月とよばれ、太陽暦と太陰暦の違いとかなんとか・・・



社員自慢!



今回は当社の登山部について紹介致します。かしこまった登山部と言うかたちでは無く、自分に合ったスタイル(山・ルート・工程等)であれば自由に参加し楽しんでいきます。

それでは、大分県祖母山 1,756m (10月6~7日)での内容を記載します。

【コースタイム】

〔6日〕会社発(5:05)→登山開始_尾平(9:20)~祖母山(15:50)→九合目山小屋(16:20)

〔7日〕九合目山小屋(6:50)~尾平(11:30)→帰社(16:35)

〈夕食:鍋持参による豚シャブシャブ・チャンポン・アルコール少々〉



【祖母山 天狗岩】



【祖母山 山頂】



【今回の精鋭? 4人衆】

マメちしき

前回は、ホタルの種類についてお話ししましたが、今回はホタルの棲む環境についてのお話です。

ゲンジホタルは、清らかな小川に棲む印象が強くありますが、近年の研究ではやや汚れている小川でも生息可能であるとも報告されています。ここで重要なのは、どのような環境下であればゲンジホタルが生息可能かということで、これには、餌となるカワニナや生息環境が深く関わっているといわれています。

餌となるカワニナの生息条件として、生息地の水質に十分なカルシウム分が含まれていること、またカワニナの餌となる珪藻類が十分に繁殖する為のマグネシウム等も含まれていることが挙げられます。

また、生息環境として、ゲンジホタルは砂や泥の堆積がなく、ある程度隙間をもって石が重なっておりしかも自身が流されない程度の流れがある場所を好みます。一方、カワニナは流れの非常に穏やかで浅いところから流れの速い瀬の部分まで幅広く生息しています。ただ、両者の共通点として、いずれも石灰岩層があり、日当たりが良く、珪藻類など植物性プランクトンが多い、さらには、周辺に落葉樹が多く落ち葉が流れの中に多くある、あるいはセリなどの植物が茂っているなどの特徴をもっています。

このようにホタルの生活圏は、非常に複雑で多様な構造を形成しているのです。



ゲンジホタルの好物カワニナ

編集後記

昨年のご愛読ありがとうございました。より一層、内容の充実心がけますので宜しくお願いします。

次回は、弊社の業務の紹介を予定しておりますので、ご期待下さい。

(編集委員 山下、國友、友成、諸藤、金子、鶴田、武下)

福岡県北九州市戸畑区中原新町2-4

TEL 093-883-0150 FAX 093-883-0701

<http://www.kan-tec.co.jp>

MAIL info@kan-tec.co.jp

始動、環境コンシェルジュ!!!

環境テクノス株式会社

